

# 草屋根と絵筆

## 向井潤吉のエッセイとともに

戦後、一九四五年の晩秋から、失われゆく草屋根の民家を描き続けた画家・向井潤吉（一九〇一―一九九五）。向井は、日本各地を巡る旅の体験を綴った文章も数多く残し、それらには、訪れた土地での風景や人々との一期一会が、飾り気のない言葉で、時にユーモアを交えて語られています。私たちはそこから、変貌する戦後日本の側面を見つめ続けた一人の画家のまなざしと、消え去っていく風景への深い愛惜の念を読み取ることができます。

二〇一八年には、こうした旅の手記をはじめ、激動の二〇世紀とともに歩んだその人生における様々な回想などをまとめたエッセイ集『草屋根と絵筆 画家向井潤吉のエッセイ』（国書刊行会）も刊行されました。

本展では、民家シリーズの代表作をはじめ、向井のエッセイと、それにかかわる絵画作品をあわせて展示します。向井潤吉が、それぞれの制作地で得た感慨をエッセイから読み取っていただき、その人となりにふれていただく機会になればと思います。



《六月の田園》[岩手県岩手郡滝沢村]1971年

《聚落》[山形県東田村朝日村田麦俣]1966年



《大原新雪》[京都府京都市左京区大原]1981年



《春叢》[埼玉県東松山市神戸]1988年

### イベント情報

担当学芸員によるギャラリートーク

- 4月13日(土)11:00～
- 9月21日(土)11:00～

\*いずれも20分程度、参加費無料(観覧料別途)、事前申込不要

## 世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL:03-5450-9581  
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

[交通案内] 東急田園都市線「駒沢大学」駅西口 徒歩10分 / 東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分 / 東急バス(渋05) 渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分 / 東急バス(等11) 祖師ヶ谷大蔵駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分 / 東急バス(等13) 梅ヶ丘駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分 / 東急バス(渋11) 渋谷駅～田園調布駅「駒沢大学駅前」徒歩10分 / 東急バス(渋12) 渋谷駅～二子玉川駅・高津営業所「駒沢大学駅前」徒歩10分

【休館のお知らせ】  
向井潤吉アトリエ館は空調設備等の改修工事のため、2019年10月7日(月)から2020年4月上旬まで休館を予定しています。



©宮本和義

### 世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL:03-3416-1202  
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

● 清川泰次 具象から抽象へのあゆみ  
2019年4月2日(火)～10月6日(日)



©宮本和義

### 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL:03-5483-3836  
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

● 宮本三郎 花々と、女たちと Women and Flowers  
2019年4月2日(火)～10月6日(日)



©宮本和義



## 世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL:03-3415-6011(代表)

[展覧会のご案内]  
TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル)  
<https://www.setagayartmuseum.or.jp/>  
\*詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催展

企画展

ミュージアム  
コレクション

- 田沼武能写真展 東京わが残像1948-1964 || 2019年2月9日(土)～4月14日(日)
- ある編集者のユートピア 小野二郎:ウィリアム・モリス、晶文社、高山建築学校 || 2019年4月27日(土)～6月23日(日)
- 高橋秀+藤田桜——素敵なふたり || 2019年7月6日(土)～9月1日(日)
- チェコ・デザイン100年の旅 || 2019年9月14日(土)～11月10日(日)
- ミュージアム コレクションI <それぞれのふたり> 池田良二と海老塚耕一 || 2019年4月20日(土)～7月21日(日)
- ミュージアム コレクションII 森芳雄と仲間たち || 2019年8月3日(土)～11月24日(日)